

The 2 Chome Times 平成26年7月号

NO1のプレミアムストリートをめざして



NO194.

2014・7・25.

発行 神戸三宮センター街2丁目商店街振興組合 (tel331-3091) (fax333-8591)

2丁目タイム月7月号

編集：企画・商業振興部、編集長：芹澤邦明

http://www.centergai2.com E-mail:centergai2@nifty.com

★第57回沖縄全戦没者追悼式

太平洋戦争から69年が経ち、壮絶だった沖縄戦で亡くなられた20万人余りの犠牲者の方々の御霊を慰め、世界平和を誓う「沖縄全戦没者追悼式」が、6月23日に糸満市摩文仁の平和祈念公園にて正午から開催されました。沖縄戦の悲惨な歴史を知り、追悼式に参列し、沖縄の方々の心に寄り添うことは、毎年神戸の子ども達を沖縄に御案内している「神戸夢・未来号プロジェクト」を推進していく上で、とても重要な意味をもつものとなっています。子ども達にただ沖縄観光を楽しんで頂くのではなく、神戸出身で沖縄戦に散った最後の官



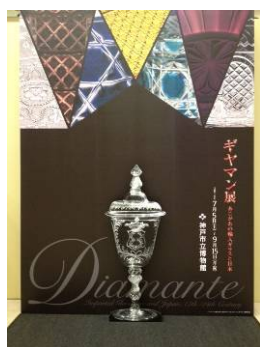
選知事、島田叡氏が眠る摩文仁の丘で戦争の悲惨さを知ってもらい、平和の尊さをお伝えしています。そういった意味においても、神戸の街衆の中から毎年メンバーが交代で追悼式に参列しております。今年も久利会長他7名が参列しました。また安倍首相をはじめ伊吹衆議院議



長、山崎参議院議長、岸田外務大臣、小野寺防衛大臣、山本沖縄担当大臣ら政府関係者や、ケネディ駐日米大使が参列し、戦争で亡くなられた方々のご冥福をお祈りしました。式典のなかで、石垣市立真喜良小学校3年生の増田健琉君による詩「空はつながっている」の朗読がありました。戦争が無い平和な状態を「青い空」、戦争で不幸な状態を「灰色の空」にたとえて、幸せな「青い空」が世界中どこまでも広がって欲しいという願いを込めた詩を読み上げました。厳粛な追悼式の後に島守の塔、のじぎくの塔を参拝しました。翌日、沖縄県庁と那覇市役所他を表敬訪問し、那覇市役所では市の関係者を交えて意見交換会を行いました。そしてお互いの信頼関係と絆を再確認し、神戸への帰路に着きました。沖縄の方々と気持ちを共有でき、人の心の痛みがわかるそんな街衆でありたいと思っております

★ギヤマン展 神戸市立博物館

現在神戸市立博物館で開催されている「ギヤマン展—あこがれの輸入ガラスと日本」という特別展に行ってきました。「ギヤマン」って何？という感じなのですが、江戸時代後期、ヨ



ーロッパから輸入された上質のガラス器は日本製の一般的なガラスを指すビイドロと区別して、「ギヤマン」と呼ばれていたそうです。江戸時代後期から明治時代前期にかけて上方、江戸、薩摩などで手彫り切子がさかんに行われましたが、これは「ギヤマン」への憧れがそれだけ強かったことを指すものだそう



です。館内に入ってすぐに印象に残った作品が17世紀後期にドイツで制作された「鉄砲形ガラス瓶」でした。もちろん魅力的なカットや鮮やかな発色が施された作品ばかりでしたが、記者は素朴に「どうやってこの形を作るのだろう」と感心してしまいました。他に輸入品ばかりではなく、和製ギヤマン、和製切子の代表と言ってよい薩摩切子の名品の数々も紹介されており、日本独自の工芸的進化もご覧になれます。この機会に当時のみならず、現代でも感じられる「ギヤマン」の素晴らしさを体験して下さい！
神戸市立博物館：ギヤマン展—あこがれの輸入ガラスと日本 9月15日（月曜日・祝日）まで開催
開館時間 9:30～17:30（入館は17:00まで） ※土曜日は19:00まで開館（入館は18:30まで）
休館日：月曜日（7月21、9月15日は共に祝日で開館） 7月22日（火）は休館
〒650-0034 神戸市中央区京町24 [Tel:078-391-0035](tel:078-391-0035)

★人間賛歌「新谷 英子 彫刻の世界展」

かつて「さんちか」に設置されていた「オーロラ」や、神戸文化ホールの「灯」等の作品で知られる新谷英子さんの展覧会が5月24日から7月13日まで朝来市のあさご芸術の森美術館で開催されていました。関西電力の美しい機能美をみせる多々良木ダムの石垣の下に建築された美術館は、朝来市出身の淀井敏夫さんの彫刻作品を多く蔵している事でも有名です。美術館の二階にブロンズ、鉄の作品群、小さな陶器のシュナード瓶からガラスの小作品が展示されていましたが、そこで繰り広げられた新谷さんの世界の作品の人物の表情からは、神戸のどこかで見かけた人の面影までがチラチラ。軽やかに優雅な神戸のエスプリが会場一杯に広がっていました。



あさご芸術の森美術館：〒679-3423 兵庫県朝来市多々良木739番地3
Tel 079-670-4111 Fax 079-670-4113

★生田神社の大海夏祭り

恒例となった夏の神戸の夜を彩る生田神社の摂社大海神社の夏祭りが8月3・4・5日の3日間にわたり盛大に斎行され、様々な神賑行事、並びに名物のど自慢大会、ゲスト歌手奉納ライブなど魅力的なプログラムが予定されています。3日（日）17時半からは大海神社のご神前で神戸港・神戸空港の海・空の繁栄を祈願する宮司による祝詞やANAのキャビンアテンダントによる安全の祈願文等がそれぞれ奏上されると共に様々な厄を退ける浪速神楽が巫女により奉納されます。また境内特設ステージでは恒例の、サンバショーや神戸清盛隊のパフォーマンスなどの熱演が予定されております。また神社の境内ではヴィッセル神戸ブースや夜空BARなど趣向を凝らしたコーナーが設けられます。夏の暑さを吹き飛ばし、元気を頂けるのは間違いありません。ちょっと浴衣なんかで洒落込んで生田神社に出かけられてはいかがですか。



お問い合わせ 生田神社：Tel 078-321-3851 Fax 078-321-3853

★編集後記

兵庫県の元県議会議員が在任中の不自然な支出に対する質問に対し、意味の分からない号泣を伴った釈明で話題になっています。呆れるのはもちろん、この元議員が県議会議員になった時の動機さえ疑いたくなります。仮に至極真つ当たった動機が、時の経過と共に歪められたのなら残念です。私達の街創りで進めている「人に優しい街を創る」という目標は全くぶれることなく真つ直ぐにその方向に向かっていきます。今回の沖縄全戦没者追悼式への参列も、同じ趣旨で実現したものです。その他に、まもなく行われる「夏の献血運動」への全面的な協力や毎月行われている清掃活動もしかりです。愚直に足元を見つめて一歩ずつ確実に前へ進む、この大事さを信じて歩みを進めたいと思っています。